



写真で見る
日本人の生活

「年末の日本」

ねん まつ に ほん

このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している、日本語教育用「写真パネルバンク」シリーズを使って、初等中等教育機関で日本語を教える先生方が、どのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は初級の学習者でも読めるようにやさしいものを選びました。今回は、年末に日本人がどんなことをするかを紹介します。

おせいぼ



日本では、12月に、ふだんお世話になっている人にお礼の気持ちとして、「おせいぼ」というプレゼントをおくりします。

11月の終わりから、デパートで、おせいぼの売り出しが始まります。おくるものと、おくり先を決めるとデパートがとどけてくれます。

おせいぼの予算は1つにつき3000円から5000円くらいです。品物はよく使われ、長持ちする食べ物や飲み物が多いです。

おせいぼで一番人気なのは、ウイスキーやビールなどのお酒やクッキーなどのおかしです。料理をするときに使う調味料も人気があります。

お歳暮に贈られるものベスト5の品物と予算

	1987年 ねん	1996年 ねん
1位 い	国産ウイスキー こくさん 5,000 (円) えん	洋菓子セット ようがし 3,000 (円) えん
2位 い	洋菓子セット ようがし 3,000	のり のり 3,000
3位 い	サラダ油 ゆ 3,000	ビール ビール 3,000
4位 い	調味料 ちようみりよう 3,000	のり のり 5,000
5位 い	のり のり 3,000	サラダ油 ゆ 3,000

(三越の日本橋、銀座、新宿、池袋、横浜5店の総売上数量)

日鉄ヒューマンデベロップメント / 日本外国語専門学校 『日本を話そう 15のテーマで学ぶ日本事情』
<第2版> (ジャパントイムズ) より



大そうじ

12月には、多くの家庭で1年に1回とくべつなそうじをします。このそうじを「大そうじ」とよびます。

大そうじのときは、ふつうはそうじしない所もきれいになります。これには、家をきれいにし、お正月をむかえる、という意味があります。

学校や会社でも、大そうじをするところが多いです。



クリスマス

日本では、クリスマスは年中行事のひとつとして考えられています。

特に、小さい子供のいる家庭では、クリスマスをいいうことが多いです。クリスマスツリーをかざったり、ローストチキンやクリスマスケーキを食べたりします。

子供たちは、クリスマスプレゼントをもらうことを、とても楽しみにしています。



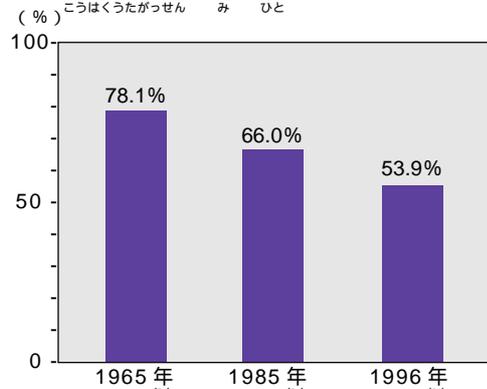
紅白歌合戦

12月31日は「大みそか」で、さまざまな行事があります。大みそかの夜、NHK（日本放送協会）では「紅白歌合戦」があります。

「紅白歌合戦」は、その年に人気があった歌手が男性のチーム（白組）と女性のチーム（紅組）にわかれて歌います。

「紅白歌合戦」はとても人気があるプログラムで、歌手にとって、出場することは、大きなよこびです。

紅白歌合戦を見た人のパーセント



(ビデオ・リサーチ社関東地区調べ より作成)

1960年代には10人中8人の日本人が紅白歌合戦を見ていました。今は、2人に1人ぐらいです。最近の若者は、家族とテレビを見るよりも、アルバイトや友達とスキーなどをして年末を過ごしています。

このコーナーの担当者：荒川洋平、小玉安恵（日本語国際センター専任講師）